

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公開番号】特開 2005-13738 (P2005-13738A)
 【公開日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-003
 【出願番号】特願 2004-187274 (P2004-187274)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/02 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/02 3 0 3 A

A 6 1 B 6/02 3 0 1 A

A 6 1 B 6/02 3 5 3 C

G 0 6 T 1/00 4 0 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

トモシンセシスにおいて再構成されたデータセットは、トモシンセシス・データを収集するために用いられた投射の方向における構造のボケを示すことが多い。これは、3D再構成の深さ分解能不足又は深さのボケと表現される。被撮像構造に関連するこれらのアーチファクトは、収集ジオメトリに対する構造の向きに応じて変化することになる。例えば、線形×線トモシンセシス・システムの線形運動と整合する線形構造は、関心ボリュームの深さ全体にわたってボケて見えることになり、このような構造は、円形×線トモシンセシス・システムの円形運動によりボケがかなり低減されるようになる。構造のボケは、好ましくない画像アーチファクトを生成し、被撮像ボリュームの再構成の際に異なる高さに位置する構造の分離を妨げる可能性がある。

【特許文献 1】米国特許第 5 1 8 7 6 5 9 号